

平成31年度 行政評価事業別シート

実計対象	<input checked="" type="checkbox"/>	評価対象	<input checked="" type="checkbox"/>	新規	<input type="checkbox"/>	完了事業	<input type="checkbox"/>	ゼロ予算事業	<input type="checkbox"/>	担当者	竹内 一也
全体計画						経費区分		実施計画事業費		内線	3613
事務事業名	4262 小学校施設整備事業										
所 属	300100 教育委員会事務局・学校教育課										
施 策	02010700 特色ある魅力的な学校づくりの推進										
予算科目	会計	01 一般会計									
	科目	100201 教育費・小学校費・学校管理費									
	事業	020000 小学校施設整備事業									
事業目的						事業概要・効果					
学校施設の長寿命化や環境整備を行い、児童の安全確保や教育環境の改善を図る。						児童が安全で快適に学校生活が送れるよう、学校施設の危険箇所や痛みの著しい箇所を優先的に改修する。					

PLAN-DO

年度実績及び予定

平成27年度 実績	平成28年度 実績
仁礼小学校防災機能強化工事 小学校屋内運動場非構造部材耐震化工事（8校） 森上小学校校庭フェンス設置工事 豊洲小学校プールシート防水工事	小学校防災機能強化工事（森上小学校、豊丘小学校） 森上小学校プールシート防水工事
平成29年度 実績	平成30年度 実績
仁礼小学校プールシート防水工事 小学校放送設備更新	高甫小学校プールシート防水工事 小学校放送設備更新
平成31年度 予定	令和 2年度 予定
日野小学校プールシート防水工事 小学校放送設備更新	井上小学校プールシート防水工事 小学校放送設備更新

指標名	無し					
算式						単位
年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和 2年度	
目標値	目標					
	実績					
指標選定の理由						
最終年度目標の根拠						
指標名						
算式						単位
年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和 2年度	
目標値	目標					
	実績					
指標選定の理由						
最終年度目標の根拠						
指標名						
算式						単位
年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和 2年度	
目標値	目標					
	実績					
指標選定の理由						
最終年度目標の根拠						

事業費

(単位：千円)

		平成30年度 決 算	平成31年度 予 算
事業費		38,041	46,000
特定財源	国庫支出金	0	0
	都道府県支出金	0	0
	地方債	0	3,500
	その他	16,556	20,000
一般財源		21,485	22,500
人員数(人)	正規職員	0.4	0.4
	嘱託職員	0.0	0.0
	臨時職員	0.0	0.0
人員コスト	正規職員	2,860.0	2,860.0
	嘱託職員	0.0	0.0
	臨時職員	0.0	0.0
	計	2,860.0	2,860.0
市民一人当たりの経費		0.8	0.9
総額		40,901.0	48,860.0

(単位：千円)

平成30年度決算 事業費の内訳		
主な節	金額	内容
8節 報償費	0	
11節 需用費	0	
13節 委託費	12,159	設計監理委託料
15節 工事請負費	22,238	工事請負費
19節 負担金補助及び交付金	0	
その他	3,644	小学校放送整備更新

(単位：千円)

平成31年度当初予算 事業費の内訳		
主な節	金額	内容
8節 報償費	0	
11節 需用費	0	
13節 委託費	15,000	設計監理委託料
15節 工事請負費	25,000	工事請負費
19節 負担金補助及び交付金	0	
その他	6,000	小学校放送設備更新

CHECK

個別評価		
項目	評価観点	評価内容
必要性	<ul style="list-style-type: none"> 市民の生命・財産を守るため市が実施することが必要不可欠な事業であるか 行政内部の管理運営上必要な事業であるか 市が主体となり実施すべき事業か 法的な根拠や公的関与の妥当性はあるか 目的は結果（施策の目指す理想）に結びついているか 	必要不可欠
評価コメント	児童が安全で安心して快適に学校生活が送れるようにするために必要不可欠。	
有効性	<ul style="list-style-type: none"> 事業の成果は上がっているか 目標に対する達成度は十分か 市民生活上の課題解決に貢献しているか 行政内部の管理上の課題解決に貢献しているか 事業の目的が達成できるような事業内容になっているか 	大変有効
評価コメント	児童が安全で安心して快適に学校生活が送れるよう施設整備を行っている。	
効率性	<ul style="list-style-type: none"> 成果を落とさずにコストを削減する方法はあるか 効率性向上に努めているか 使用料などの受益者負担や補助対象事業の範囲など、財源確保の余地はないか 	変わらない
評価コメント	施設の状況を把握し、経年劣化により危険な場所や損傷の著しい場所を優先して改修を行っている。	

振り返り（決算年度の取組み課題）

施設の状況を把握する中で、児童が安全で安心して学校生活が送れるよう施設の整備を行った。

ACTION

1次評価

次年度以降の方向性	総合計画に沿って継続
総合評価コメント	
年度ごとの予算の多寡はあっても基本的には継続すべき事業	

2次評価

次年度以降の方向性	総合計画に沿って継続
2次評価コメント	
エアコンが入り、大きな事業は3校の大規模改修を残すのみ。今後は計画的なメンテナンスにより施設の長寿命化を図ることが求められる。	

外部評価

次年度以降の方向性	
外部評価コメント	